

—建築の保存問題について—



神戸地方裁判所



兵庫県公館(旧兵庫県庁舎)



旧神戸商工会議所



武田則明

〈建築家〉

私は1972年の、芦屋にある山邑邸保存運動以来、旧兵庫県庁舎・神戸地方裁判所・旧神戸商工会議所等の保存運動をしてきた。多くの建物が壊され、また多くの建物が残された。なかでも民家は次々に壊され続けているのが現状であろう。古い住宅は、汚い、雨が漏るとの理由で壊されてしまう。手入れをしなければ家は傷むであろう。壊してから後悔しても取り返しがつかない。大工が丁寧に造った仕事はなかなかすぐにはできない。少しずつではあるが、自分が生まれ育った歴史的な家や町が大切であることが分かりはじめた。全国どこにでもある家ではなく、その地域の個性を表す特徴を持った家に住みたいと思う。一人ひとりの個性を活かすことが個人主義の時代に求められているのだから。しかし考えてみると、個人主義の時代になんと住宅に関するては無個性なのだろうか。コマーシャルや人の意見ばかりにして、自分の意見のない時代になつたのかもしれない。

神戸では建物は町の歴史を表し、町の文化の象徴だとの意識が高まつたと思う。一方神戸を離れると、JR奈良駅を取り壊して新しい駅舎を建設すること

が新聞でていた。いつも行政が使う手だが、お雇いの知識人を集め、審議会に都合のよい答申書を出させ、この建物は文化的価値が無いと言わせている。少なくとも審議会のメンバーのなかに、建築の専門家が入っているとは聞いていない。会長は医者である。病人を診断するのに医者以外の人が診断しても、その結果を信用できるだろうか。奈良には日本の国宝建築が沢山あるので、昭和4年の建物は価値が無いのだろうか。

同じように大阪証券取引所ビルを建て替える計画が進んでいくようだ。コンピューターの時代になり、立ち会つての証券取引はなくなつた。だけれども長い間景気の良い時も悪い時も経済の中心として活動をしてきて、常に新聞をにぎわせてきた。また年末年始に大発会を行つて、姿を多くの人々に見守られてきた。統いてそぞう本店を壊して建て替える計画が発表された。新生そぞうの為に何かをしたいのは分かる。しかし村野藤吾の傑作であり、大阪のモダニズム建築の象徴、即ち歴史と文化の老舗としての形を壊して高級な商品が売れるとは思わない。もつと建物の価値を信じて欲しい。文化は市民が守らねばなるまい。

— 神戸に残してゆく風景 —

神戸のモダーンリビング⑩



高月昭子

〈計画工房INACHI〉

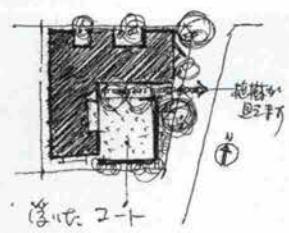


↓外に余地を提供

↑道路側から



↓中庭から



重く責任としているのは、時間や時代と共に活きて寿命を永らえてゆけるものにしておくという事です。そのためには建物本体が丈夫に建っている事が大前提となつていて、すまいの基本としての暮らしやすさ、居心地の良さに十分配慮されている事、家族構成や暮らし方の変化に対応できる事等々がきちんと含まれた上で、住み手の個性が年月の積み重ねで染み込んでゆける建物。そうであれば永く大切に使われ、地域の環境の構成員としての役割を担つてゆけると考えています。

そして設計者の社会的責任はその地域の家並構成にとつての「何か」を提供できる「たたずまい」と考えています。街並に配慮した「たたずまい」を持つ建物が長い時間を越えてその場に存在し続ける事の大切さを、

人は「すまい」を持とうとする時、何をよりどころに想い、何を求めているのだろうかと、クライアントの意向を熟考しながら具現化し形にしてゆこうと努めます。それにしても、これから建物が活きてゆく年月を考えればあまりにも短すぎる期間で作業がすすめられてゆくのが現実です。

我々が設計を依頼されて最も重く責任としているのは、時間や時代と共に活きて寿命を永らえてゆけるものにしておくという事です。そのためには建物本体が丈夫に建っている事が大前提となつていて、すまいの基本としての暮らしやすさ、居心地の良さに十分配慮されている事、家族構成や暮らし方の変化に対応できる事等々がきちんと含まれた上で、住み手の個性が年月の積み重ねで染み込んでゆける建物。そうであれば永く大切に使われ、地域の環境の構成員としての役割を担つてゆけると考えています。

そして設計者の社会的責任はその地域の家並構成にとつての「何か」を提供できる「たたずまい」と考えています。街並に配慮した「たたずまい」を持つ建物が長い時間を越えてその場に存在し続ける事の大切さを、

我々は今回の地震で痛感しています。ここに紹介している住宅は、20年を経過して全く建設当時のままで建っています。一戸建の住宅は木造で日本の風土にあつた在来工法で工夫して建てるのがまだ最善だと思ついますが、する設計意図は、堅固だという事と街並を形成してゆく外皮を決定しておきたいという想いがあります。そして街並に対し可能な限りのオープンスペースを提供しておきたいと考えます。この建物は外皮はコンクリートですが内部と屋根は木造で、取り払えば全く一つのガランドウな空間になります。そろそろ家族の変化や、施主の年齢も上がってきて、改修の計画が必要な時期に来ています。大きなしつきりしたフレームの中では将来の変化に対応できる建て方にしつかれており、将来的に見れば費用のかかり方が格段に違います。住宅ローンのために働くような事はもう止めて、何世代もが少しずつ分相応な持ち出しで安心して暮してゆける「住宅」を残してゆかなければならぬと気づいて欲しいものです。それが復興後の神戸ではどうか、考えさせられる問題です。

「マイク・ア・ウイツシユ」活動 難病の子どもたちの夢をかなえる



橋本 明

家計収支促進協議会のホームページ
<http://www.pormel.ne.jp/~ainote>

Make a wish とは、「ねがいごとをする」という意味だが、この名の通りのボランティア団体が今世界の20か国で、難病の子どもたちの夢をかなえるために活動を続けている。

「マイク・ア・ウイツシユ・インター・ナショナル」の本部はアメリカのアリゾナ州フェニックスにある。この活動は、アリゾナのクリスという7歳の男の子の、警察官になる夢から始まった。クリスは白血病にかかり学校に行くこともできなくなってしまったので、アリゾナの警察官たちは本物そっくりの制服とヘルメットとバッジを用意して

クリスを名誉警察官に任命し、実際に駐車違反の取り締まりやヘリコプターに乗って空からの監視をさせてもらつて大喜びだった。しかし、その5日後にクリスは亡くなつた。ほんの短い間だつたがクリスの夢はかなつたのだつた。この夢の実現に協力した人々が、いろんな夢をもちらん、病気のため夢の実現が難しい子どものために何かできれば、と考えて1980年に設立されたのが「マイク・ア・ウイツシユ基金」だった。このボランティア団体の活動は「難病のために夢をかなえることが難しい子どもたちの夢を

かなえてあげる」ではなく、夢をかなえるのに必要な手配や配慮をしてそのお手伝いすることである。対象となるのは3歳から18歳未満の難病の子どもたちで、これまでに世界の8万人以上の子どもたちの夢の実現に協力をしてきた。

日本では「マイク・ア・ウイツシユ・オブ・ジャパン (M A W J)」が1992年12月に設立され、昨年までに160人の子どもたちの夢がかなえられた。たとえば「ディズニーランドへ行きたい」「フロリダのシャチに会いたい」「ウルトラマンガイアに会いたい」「F1が見たい」「イルカと遊びたい」や、スポーツ選手、芸能人に会いたい等いろいろな夢が実現した。



ハワイでヨーヨーの認定試験を受けた



ロサンゼルスのユニバーサル・スタジオを見学



セレッソの森島選手と車イスでサッカーをした



テレビドラマで台詞をしゃべった

神戸にも2年前の10月に関西支部ができ、昨年は11人の夢がかなつた。「ロサンゼルスのユニバーサル・スタジオの見学」(大阪・18歳男子)、「セレッソの森島選手

かなえてあげる」のではなく、夢をかなえるのに必要な手配や配慮をしてそのお手伝いすることである。対象となるのは3歳から18歳未満の難病の子どもたちで、これまでに世界の8万人以上の子どもたちの夢の実現に協力をしてきた。

日本では「マイク・ア・ウイツシユ・オブ・ジャパン (M A W J)」が1992年12月に設立され、昨年までに160人の子どもたちの夢がかなえられた。たとえば「ディズニーランドへ行きたい」「フロリダのシャチに会いたい」「ウルトラマンガイアに会いたい」「F1が見たい」「イルカと遊びたい」や、スポーツ選手、芸能人に会いたい等いろいろな夢が実現した。

さまざまな夢の実現には資金やボランティアの協力が欠かせない。日本には東京事務局 (TEL 03-3221-8388) の他に仙台、北陸、関西、名古屋、福岡に支部があり、協力者をもとめている。

と電動車イスでサッカーをしたい」(神戸・18歳男子)、「テレビドラマで台詞をしゃべりたい」(神戸・14歳女子)、「ハワイでプロのヨーヨー・チームの認定試験を受けたい」(大阪・14歳男子)など、かなつた夢はさまざまだつた。

夢の実現のためには難病の子ども自身、家族などからまず電話かFAXで事務局へ申し込むことからスタートする。主治医によって子どもの病名や症状がM A W Jの夢をかなえる対象かどうかを世界共通の病名リストを参考にして認定、審議の後、ボランティアたちの協力で実現に向けて努力される。

関西支部の森田亜矢子さんは「この活動は子どもたちの最期のお願いではありません。夢がかなうことで、子どもに次の夢が生まれてくるんです。その夢をもつことが生きる力となるのです」という。

■ 関西支部
〒650-10037 神戸市中央区明石町32
明海ビル4階ブルデュンシャル生命保険神戸支社内
TEL & FAX 078-333-5306
E-mail:mawken@gol.com
http://www.erde.co.jp/~wish_japan/

戸・18歳男子)、「テレビドラマで台詞をしゃべりたい」(神戸・14歳女子)、「ハワイでプロのヨーヨー・チームの認定試験を受けたい」(大阪・14歳男子)

真夏の太陽の下、砂で海の生き物をつくろう！ サンドフェスタ2000が開催

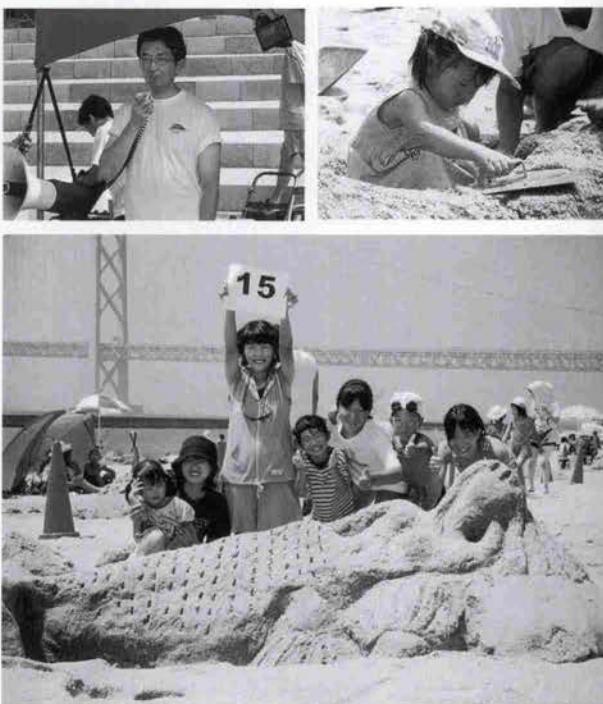
神戸の明日を担う若き青年経済人の集い神戸青年会議所に、今年は約40名が入会を希望している。毎年夏休みには、その入会希望者たちが自分たちでアイディアを出し合って、地域との交流をテーマに家族で楽しめるイベントを企画している。今年は子供たちが砂像をつくることによって、物をつくることの楽しさや喜びを体験してもらおうと「サンドフェスタ2000」が企画された。

8月19日、会場となった白砂青松でお馴染みのアジュール舞子（垂水区）には、市内から24組の子供連れファミリーやカップルが招待された。約1メートル四方にもらった砂山を自分たちの創意工夫により、スコップや手を使って海の生き物をつくり上げていく。作品は海の生き物に限定され、カメ、タコ、イルカなどに人気が集中。中にはワニや人魚など、海の生き物？と、首をかしげてしまう作品もあった

が、それでもなかなかの力作ぞろい。最優秀賞には審査の結果、村地さん、唐木さんご一家の人魚姫が選ばれた。

また会場の中央部では、JCメンバーたちがメイン砂像として6メートル×1メートル×1メートルのクジラに挑戦。日差しにさらされると砂山は乾いて崩れやすくなるため、海水をかけながら骨の折れる作業の連続となつたが、見事に完成させた。

それにしても、砂像をつくることになってからのJCメンバーたちの苦労たるや相当のものだった。まず、アジュール舞子の砂は粗くてなかなか固まらないのだ。実験に実験を繰り返した結果、砂に粘力のあるデンブンを混入することで砂を固めることに成功した。砂像を担当したメンバーは仕事の合間をぬって、3日連続でアジュール舞子で実験したりと大忙し。しかし、そんな苦勞の甲斐もあって、参加者たちは砂像づくりに夢中になつていただいた。とくに子供たちにとっては、残り少ない夏休みの思い出づくりになった様子。そんな光景を目の当たりにし、JCメンバーたちの喜びも一入であった。打ち上げの席で、感極まって涙を流すメンバーの姿も。(高橋)



「兵庫県立神戸生活創造センター」オープン

新しいライフスタイルの創造を支援します

お話を伺った方 藤池 俊さん(兵庫県立神戸生活創造センター所長)



今年四月に誕生した「神戸生活創造センター」は、皆さんの新しいライフスタイルの創造に向けた活動を支援する総合拠点です。JR神戸駅からすぐのクリスタルタワー二階から六階にあり、アクセスマップによる支援・アドバイスや、多彩な講座が用意されています。今回は、このセンターの施設内容や、活用方法などについて神戸生活創造センター所長の藤池俊さんにお話を伺いました。

—センターが設立された趣旨をお聞かせください。

本格的な成熟社会を迎える、県民のみなさんの意識や価値観は、「モノ」から「ころ」の豊かさへと大きく変化するともに、多様化してきています。こうしたことから、県では、県民の皆さんのがんばりを高めよう、「暮らしをよりよくしようと」「社会参加活動をしたい」という主体的な活動を積極的に支援する拠点として、生活創造センター構想を推進しています。この構想に基づき、平成八年に開設した丹波の森公園について、当センターは県下二番目の施設としてオープンしました。ここは、主に神戸やその周辺地域の人々や実践団体の新しいライフスタイルの創造をお手伝いしていくとともに、暮らしに関する全般的な相談や情報発信の機能

を備えています。

—センターの主な機能、行っている事業はどんなものでしょうか。

主に四つの機能があります。

一つめは、県民の皆さんのがんばり活動や、相互交流を支援する機能です。会議室をはじめ、絵画や手工芸など幅広い創作活動に利用可能な創作工房、音響・映像設備を完備した生活創造スタジオのほか、創作活動などの成果を発表・展示するためのギャラリースペースなど多彩な活動を開催できる設備があります。また、環境・健康・福祉・地域づくりなどの社会参加活動をしている実践団体が、生活創造プラザグループとして当センターに登録すると、活動ベースや、印刷・製本室、ビデオ編集室、グループワーク室、レターボックスを無料で活用できるなど、団体の円滑な運営をサポートしています。

二つめは情報機能。生活情報プラザでは、蔵書を約一万千冊、ビデオを千八百本集積し、全国ではトップクラスの生活関連情報量を誇っています。県内各地の情報や企業情報はもとより、さまざまな実践活動団体や社会参加活動に役立つ情報が集まり、生活情報活動アドバイザーが皆さんの知りたい情報を分かりやすく案内しています。

—新しい生活創造活動を支援する機能が、「ぎゅつ」と詰め込まれていますね。

そのとおりです。オープンして約半年経過した現在、このセンターを拠点に活動の輪を広げている生活創造プラザグループは約三百団体あります。充実した設備と、専門技術を持つスタッフに加え、先日、ホームページを開設し、センターの事業紹介・イベント案内をはじめ、センターにある蔵書や生活創造プラザグループなどの情報を発信していくことにしています。

さらに、現在ご好評をいただいている生活創造プラザグループと当センター共働のセミナーや講座も、引き続き様々な分野に広げて催していきたいと思います。これからも、親しみやすく、利用しやすい場づくりと、皆さんと一緒に生きがい創造や自己実現につながっていくような事業の企画・催し物をしていきたいと考えていますので、ぜひ、多くの方々に当センターをご利用いただきたいと思います。

みんなの生活設計づくりに関する相談にお答えしています。

最後に学習機能。生活創造大学やくらしの実践講座など県民の皆さん様々な学びの機会を提供しています。また、専門的な技術と知識を有する活動支援コメディネーターが、講師の紹介や、実践団体の運営ノウハウなどの手助けを行っています。

あなたの創る・学ぶ・知る・相談を支援します
兵庫県立神戸生活創造センター



ミステリーグルメ

神戸篇

ONE DAY LILY

—そして神戸—

ウドノ葉生子



波 留菜が2階に上がってゆく姿を目で追いながら「大丈夫かな」「多分…。しかし、医者が来ただから尋問はきっと拒否するだろう」
寝室は淡いクリーム色で統一され落ち着きがある。夫人は家族に囲まれていて、中央のセミダブルベッドの中で、少女的な匂いをただよわせ深く眠っていた。いつもの優雅な表情がすっかり消え失せ、夫人の歴史の数だけわれわれに再認識させようとしていた。

（覚えてるかい。忘れられない神戸の夜。二人が結ばれた時、君の暖かい涙がぼくの頬に落ち、その時どれほど深い愛と責任を感じたことか。僕の愛を受け入れてくれて本当にありがとう。君の心情が痛いほどわかる。この愛を一生大事にしていくつもりだ。この忌まわしい一件が落着したら二人でゆつく

医者が眉を蹙らせて「やはりショックだったんでしよう。バスルームで倒れていらっしゃいましたよ」豪邸のお抱え医者も仕立てのいい英國ブランドのダブルスーツを着込み、年配の看護婦を一人同行させている。多分、夫人のために付き添いを用意させたのだろう。

そこへ田代刑事が入ってきて、われわれにさりげなく目配せしたので部屋の外に出る。
彼の手に何か握りしめられている。

「どうした、田代君」

「ハイ。現場検証していましたら、ガイシヤの枕の下からこんな物が出てきました」
白い封筒であって、表書きもない。封筒の中には数枚の便箋が入っていた。

「何だろう、コバさん」

「ウン……」と言いながら目が便箋に走っている。
唸りながら、コバはやっと読み終えて、僕に渡してくれた。

「何だ、これ。

なんと、ラブレター。それも夫人へ切々たる恋情がしたためられていて。
彼が呻き続けたわけが納得できた。

り世界一周の船旅に出ようじゃないか」

以下、綿々と恋心が書き綴られていた。

なのに、どうしてこんな不幸な事件が起つたのか。

不安と恐怖が、横田俊充を、なぜここまで純粹にさせたのか。

「これで自殺説はとんだが、現場に大勢の人がいたのに誰も見ていないとはね」とコバが愚痴をこぼす。「いや、コバさん。逆じやないかな。僕は誰かが見ていたとふんでいる」

「名探偵の眼力か」

「フフ：犯人ともう一人、もししくは複数」「見て黙っているのか」

「多分」

「なぜ？」問い合わせたコバの目が突然、僕の口を抑える。背後に人の気配を感じたらしい。

たしか、長男の義充も神戸で恋人と別れたと言つたつけ。神戸の六甲山にも別荘があるというし、横田家の社業発祥の地も神戸、偶然か波留菜のボーカフレンドも北野町にある在神外国人サロン「神戸俱樂部」のメンバーだという。ムム：共通項として

「神戸」が。こう考えれば話は早い。

「よし。解決するために、神戸ツアーリーとしゃれこむか」ニヤリとコバを見ると案の定である。
「おいおい、困るぜ。本格的事情聴取もこれからだし、それに事件は東京だぜ」

「アウトラインは地元の田代刑事に任せて、そのあととの詰めにどうだい、いい考えたと思うよ。ここではきっと埒があかないと思う。打開策として、全員の気持を裸にして一挙に解決といきたいね。それにさ、故人を偲んで粹な神戸ラブストーリィとなるじやないか」

「渋々と」こっちの事情聴取が済んだら、君のやりたいようにやっていいよ」

「サンキュー、任して。なんとかやつてみるからさ」

「よし、わかった。ところでお邪魔だろうが、その時、僕も同道させてもらうよ」

「喜んで。コバさんも久しぶりの神戸を楽しんでよ」「うん、何か元気になつてきたな。ジュリアン」

「お互いの情報を交換といきましょうか」

「いいけど、電話とコンピューターはまずいぜ。こ

の頃素人の盗聴とかハッカーとやらが問題だからな」「よし、取引成立。犯人をあげようぜ。コバさんの名前は僕に任せて」

「俺はそんなにアホか」

「いや、切れ過ぎていけない」

「…つたく。ほめてるのか、けなしてるのか」

そんな2人の間に、サーツと一陣の風が通り抜けた。きっと、横田俊充のさまよえる靈だ。われわれに何かを教えたのだろうか。

「いよっ、ジュリアン」

「あれえ、先生。ドレイツじやなかつたんですか」

「そうなんですか。いや、でもお会いできて嬉しいですよ」

東京駅の新幹線17番線のホームで、姫路獨協大学の小室豊丸学長にバッタリ出会った。

「お疲れだな。さては難事件か」小室先生の目が光る。

「お察しの通り。疲れてます。しかし、先生は分割みで外国・国内とまあお忙しい。よく体が持ちますねえ。僕なんて先生のスケジュールを見ただけでグッタリですよ」

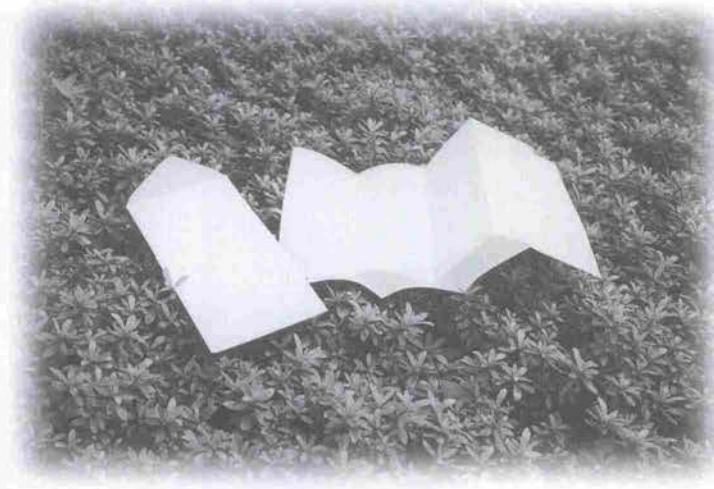
「アハハ…。仕方ないんだよ。時間と人に追つかれられる宿命。キザかな」

「イエイエ、しかし、少しは個人的にエンジョイしてくださいね」

「ありがとうございます。ジュリアン。僕も君のようにもたらね。人生、もっと輝くかも」

「よく言いますよ。先生。若い子から年配まで広範囲

「まつ、そういうことにして（笑）、事件が片付い



「おたがいさま」

波留菜の目が言葉と裏腹に温かい。お互に世の中から異端視されている同士だから?

義充は日本経済新聞の一面を食い入るように読んでいる。興味ある記事なのだろうか。時折、無音で入ってくる携帯電話に身をかがめて、小声で何やら指示を与えていた。会社の関係者みたいだ。

福充はマックのノートパソコンを抱え込んで離さない。インターネット情報を取っているのかと思つたら、服のデザインを画面に取り込んで四苦八苦しているようだ。

夫人は、お手伝いの君子と向かいのホームにたむ

ろして、いる団体のツアーパック客をぼんやり見つめている。あの事件以来、白髪が増えて痛々しい。

一族の顧問弁護士であり僕のボス、柴田敏之先生は、携帯電話が体質的に嫌いらしく必ず事務所の若手弁護士を同行させている。今回も僕の失態で、顧問先の思わぬ事件が発生してしまったので、先生のご機嫌はいいとは言えない。

コバさんは皆から少し離れたところで、一族の個々人をじっくり眺めている。時折、僕と目が合うとニヤッと口元がゆるむ。

親族の林次郎も義充の顔を盗み見ながらコソコソと夫人の耳に何やら囁いていた。一族の子会社である貿易会社の専務で事件発生時、義充と談笑していたという人物である。一見、温厚そうな重役タイプであるが、評判はなかなかのやり手で寝業師と聞く。

「ひかり」は神戸に向って発車した。東京から新神戸まで3時間15分もいすれまた短縮になるだろうが、食堂車が廃止になつたのが心なしか淋しい。

「誰? あの人」

「僕の尊敬する師匠つてどこ」

「へーエ、あなたにも尊敬する人がいるんだ」

「キツイ言葉だなあ」



ウドノ葉生子

作家、TVイベントプロデューサーなど多様に活躍中。月刊神戸っ子に「松酒家ものがたり」連載。若者向け著書「音声多重面白構造」(三水社)で人気を集め。最近作「ああ、万事塞翁がお・ん・な」(文藝社)では神戸花隈の花柳界の歴史を綴る。ラジオ日本「ウドノヨーコのざくくバラエティ」のパーソナリティを阪神・淡路大震災まで務める。

(つづく)

杯のビールが旅というくつろぎを与えてくれるものなのに。機能的、効率的が優先では情緒がなさすぎる、だから悪質な陰湿な事件が発生するのである。

「いやあ、お待ちしていました」ホームには、なんと今夜全員が宿泊する神戸ポートピアホテルの中内仁社長が待っていた。

「どうしたんです」

「いや、今回、横田様にご宿泊いただけたので、ジユリアンさんにお礼を申し上げようと思って」

「何を言つてんの。大社長ともあろう人が、何か特別の用事でも」

「いえ、それはありません。ホント素直な気持ち」この30代のやる気満々の彼には太刀打ちできない。謙虚で仕事熱心で、行動力があるから評価されるのも当然か。

「皆さんのお車、一応ご用意させてあります」

「いやあ、ありがとうございます。氣を遣つてくれて」

「どんでもない。ジユリアンさんも東奔西走で大変ですね」

「まあね」とさりげなくお互に笑みで読みとる。

神戸ファッション市民大学OBによるグループ 神戸のファッション都市化をめざす

コウベ ファッション ソサエティ

K.F.S.NEWS 211

事務局／神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインズトアビル4F 月刊神戸っ子内
TEL. 078-331-2246
FAX. 078-331-2795

KFSニュース

マンスリー神戸ハイカラ文化シリーズ第2回

10月20日（金）18時30分～21時

講 師 田辺眞人先生

場 所 ハーバーランドレストラン
ブレラ・テーブル

参加費 3,500円（食事付）

連絡先 「COL」加納代表理事
TEL.078-331-2020
FAX.078-332-2510



K.A.T
ファッショショーンショーへのお誘い
10月29日(日)
神戸外国俱楽部にて

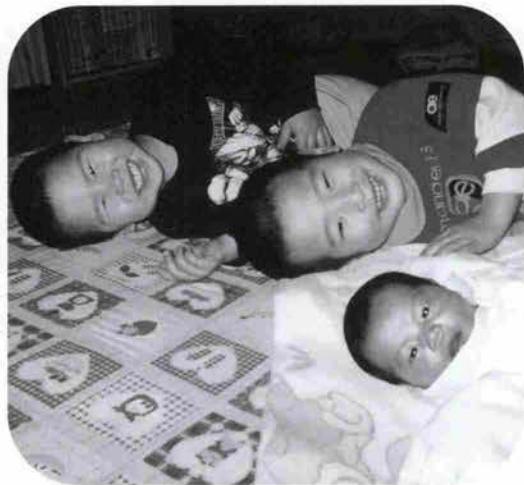
- ★午後2時30分 受付
- ★午後3時40分 ショー開幕
- ★午後5時 ディナーパーティー



SAMOTO CLINIC



ママといっしょに



あかちゃん：水舎 花ちゃん
(平成12年2月17日生まれ)

長男：大くん

次男：要くん

パパ：敬一さん

ママ：繁子さん

「お花のようにかわいくて、温かな女の子に育ってくれるといいな…」

★佐本産科・婦人科★
佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL.078-575-1024 (病室TEL.078-577-7034)
市バス上沢4停南スグ

●駐車場完備●

竹久夢二

「四つの恋のものがたり」

〈その十七〉金策の夢二、アトリエ建設決心

中右 瑛

イノチトリメタカネタノム

ナカシブヤ タケヒサ

震災後、夢二の収入は激減した。平素から貯金はなく、ピーピー
だつた夢二は、知人やファンに金策を頼むことが多かつた。巻頭の
電文は、震災直後に、堺市の山田市蔵宛てた金の無心である。

つづいて発送した手紙には、
「電報でお騒がせしてすみません。小生の住居は全く安全で助か
りました。」

子供も無事生きています。しかし、味気ない世の中になつたもの
で、人心はけはしくなり、金は逼迫する。人間は薄情になるか、迷
信的になるか自暴自棄になるかして、人の心も神さへも頼れない不
安の上にいます。

小生のようなその日ぐらしはまづまづ氣楽ではあります、取引

き先は不始末で、ちょっと手も足もでぬ騒ぎ。申しかねますが、
少々お借りしたいと思います。持つているものは何も惜しくなく、
ただもう命が惜しくなりました。

取りあえず、お願ひまで。

九月十二日 夢二
山田雅兄机下

つづく電報。
カネラクシュカンシャ ユメジ

金策に追われる夢二の姿が察せられる。

金策を頼んだ山田市蔵とは、夢二の京都高台寺時代の友人で無産
党代議士となつた山本宣治と東大同期であつた山田種三郎の弟であ
る。明治三十三年生まれ、當時、数え二十四歳。熱心な夢二ファン
で若きスポンサーでもあつた。

市蔵には、その後もたびたび助けてもらつてある。夢二は市蔵の
ことを、手紙では「青夜居」と呼び、自分は「竹環亭」と名づけた
ほど親しい間柄である。

金に対して無頓着な夢二。その金なし夢二が、またまた金が有用
となる。それも大金がである。自分の家を建てようと画策したの
だつた。

その決心をした動機はお葉にある。浮草生活をきらい、「安らぐ



竹久夢二筆「秋晴れ」
若き母親と乳母車の子。しゃれたモダンな作品。昭和初期のもので、
波米資金のために売られた。夢生と署名されている

家』「楽しい家庭」を望んでいたからだという。

「子供たちも呼び寄せ、一家団欒の家庭を持とう」

放浪癖の夢二が、お葉にせがまれやつと決心したのだった。

震災の翌年春から準備が着々と進められた。

場所は東京郊外の世田谷松沢村松原七九〇番。三百六十坪の借地で、木々に囲まれ小高い丘からは秀麗な富士も望める。

五月八日、敷地は上田丈吉が保証人となつて借地契約が結ばれた。

上田丈吉とは角丸証券の重役で、宇田川・夢二宅の隣家・西出朝風先生のご夫人の兄・金満家の上田龍耳のことである。お葉の兄で、結婚に反対した永井淳蔵にも金策を頼む。また牧野保之からは八百六十円という高額を借用。すべて借金で賄われていたという。

夢二設計の瀟洒なアトリエ付きのスイートホーム。

八月五日、上棟式があつた。有島生馬や金主ら友人が二十人ほど来て、歌をうたいお祝いをしてくれた。建築は順調に進んでいたのだつた、が…。

その後の九月一日。関東大震災からちょうど一年目のことだつた。夢二にとつて災難が再びやつて來た。なんと！ お葉が家出してしまつたのだ。

お葉のために建築はじめ、あれ程に待ち望んでいたのに…。その日、宇田川町の夢二宅を訪れた有島生馬は、夢二が気が抜けたように独りボツンと黙り込んで奥座敷にすわり込んでいるのを見て不審に思つた。

「お葉がいない…」

夢二は生馬に語りかけた。

「たんすは空っぽ。鏡台もない」

書き置きがあつた。

「もう二度と帰らないでしよう。心配しないで。さようなら。お葉」お葉はまだ二十一歳。若くて美しい。新居がもうすぐ完成だとうのに、夢二は大ショックだつた。

お葉の家出は単独行動ではなかつた。そのころ、隣家・西出朝風先生の若き書生・小原清次も消えていた。

中右瑛 抽象アートとおもしろコレクション

—恐竜のタマゴから夢二・歌磨・

写楽の浮世絵名品まで—

とき 10月1日(日)～11月5日(日)

10:00～17:00(月曜休館)

ところ 財団法人恰美術館

鳴門市撫養町妙見山公園

TEL.088-686-1611

料金 大人900円(前売700円)

小・中・高生300円

■ 中右瑛 (なかう・えい)
抽象画家、浮世絵エッセイスト

1934年生まれ。神戸市在住

[受賞歴] 行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵蒐集研究の功績により浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。

現在 行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。
著書、「抽象画集」「シェリット・リンク」「ミラクルブルーの世界」「浮世絵ミスティック」「浮世絵は18才だった!」「忠臣蔵浮世絵」「豆本・夢二黒猫絵譚」
がある

ZOOM IN ZOO

実録 王子動物園史
 <日本初・マレーオオコウモリ誕生(1953年)>

亀井一成の

ズーム イン ズー



逆さまが大好き！オオコウモリの赤ちゃん

ゾウの出稼ぎ出張

「カメリ君、市長からも『ゾウの出張

「カメリ君、石炭が着いたゾウ」
 あの諫訪山登山道を、石炭をかついで何度も往復したことか。もちろん動物たちのエサすべてを人力で運びあげたことが忘れられません。

初代園長山本吉之助氏就任は開園2年目、1952年でした。

「カメリ君、ボクは植物の方は専門だが、動物の方はダメでね。一緒に勉強しようね」

現業のボクをよく信頼してくださり、ゾウを連れての移動どうぶつ園に際しては、出張先までの送迎に足を運んでくださいました。

年に王子動物園が開園するまで、明石・姫路など県内から、中国・四国ま

ゾウの摩耶子に統いて諫訪子（現在57歳・日本最長寿）を、現王子動物園の前身である旧諫訪山動物園に迎えたのは1950年9月28日でした。

そして翌年1951年3月20日、現王子動物園の開園となつたのです。

旧諫訪山動物園は、終戦後の情勢にともない1946年末ついに閉園、その後は国際動物愛護協会の手によつて、生き残った動物たちを管理することになりました。当時、同協会の理事長として、また園長として松村豊吉氏（後に王子動物園副園長）が就任されていました。

「カメリ君、石炭が着いたゾウ」

あの諫訪山登山道を、石炭をかついで何度も往復したことか。もちろん動物たちのエサすべてを人力で運びあげたことが忘れられません。

初代園長山本吉之助氏就任は開園2

にはくれぐれも気をつけるように」との伝言があつたよ」と、山本吉之助初代園長の笑顔が忘れられません。

その当時のことを、故宮崎辰雄前市長著「神戸を創る」にも、

「昭和25年に開いた神戸大博覧会が大失敗。(中略)『せっかく大金をかけるなら後まで役立つものを』と注文をつけたが、跡地は王子動物園を開設したからいいようなもの……。(中略)ゾウは、金沢博覧会の呼び物だったものを400万円で購入し、神戸博終了後は諫訪山動物園で飼育。もう1頭買い、各地に貸してモトをとろうとした。翌



◎当時のゾウ舎は木造で、右側の日除けは飼育係の手作り。
 若かりし頃の筆者とゾウの諫訪子

と記されているとおり、深夜に諫訪山から異人館通り、そして布引から東灘貨物駅まで、ゾウを連れてボクは何度往復したか分かりません。

1951年、王子動物園への移転時に、ゾウが暴走したのは、それが日中で、市電に驚いたからなのでした。

マレー・オオコウモリの日本初の誕生に繁殖賞受賞

1952年に王子動物園にやってきたマレー・オオコウモリ



○ 1952年に王子動物園にやってきたマレー・オオコウモリ



○ 日本動物園水族館協会から贈られた名誉ある“繁殖賞”

増やしたい当時のボクは、カゴに入つたオオコウモリをいただきに出掛け、仰天！
「これはデカイコウモリ！」

カゴに手をかけたボクに大声で威嚇してくるオオコウモリが、マレー産であること、バナナやリンゴが好物つまり食性は果実食、フルーツバットの仲間だと図鑑で判りました。

「園長さん、これはたいへんな珍獣ですよ！」

さて、果実をやろうとしても、当時はバナナなど超高級品で、エサにする

など考えられない時代。リンゴ・ミカン、それに煮たサツマイモを角切りにしてヤギ乳に浸して食べさせたのです。
暖かいマレー産オオコウモリの越冬

は非常に難しいと、東京上野動物園からの手紙。今日のようにエアコンなどありはしません。石炭ストーブのあるゾウ舎の隅に、このコウモリを吊るし、ようやくのこと冬越しができたのでした。

「えらい荒々しくなった」、それに肥っていることに気づきましたが、まさかこのコウモリが妊娠しているとは夢にも思っていませんでした。

「園長さん、コウモリが赤ちゃん産んでます！」

ゾウ2頭を外に出す作業も後回しに、園長室に駆けこんだのです。

現在のゾウ舎が完成したのは王子動物園が開園して3年目の1959年6月。それまでのゾウ舎は、写真のとおり木造のせまいゾウ舎で、冬の暖房は石炭ストーブ（石油ストーブすらまだなかった）。奥の隅に2畳の宿直室があり、そこへオオコウモリをカゴに吊るのです。

カゴの下を血で汚していることに気づいたボクはびっくりしました。

「コウモリの赤ちゃんや！」

親が逆さまだから赤ちゃんも逆さ。

母親はうすい羽代わりの膜で、包むよ

うに抱いていたのです。

その日、1953年7月16日、その

日本で初めての繁殖で、6か月以上成育したとき、きわめてありがたいタ

イトル“繁殖賞”がいただけます。

「おめでとう」

とても喜んでくださった初代山本吉之助園長さんの握手が忘れられません。

王子動物園開園初の“繁殖賞”だつたのです。

連載400回記念！
亀井一成先生が撮影した
写真を5名様にさしあげます
(亀井さんの直筆サイン入り！)
アフリカ北部砂漠地帯にすむ「フェネック」



ご希望の方は、ハガキかFAXに住所・氏名・このページの感想、または亀井先生へのメッセージを書いて下記までお送り下さい。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインズアビル4階
月刊神戸っ子「ZOO」係 FAX078-331-2795
(10月30日消印有効)

有馬歳時記

神戸 秋の風物詩・有馬大茶会

心からのおもてなしを感じるお茶席



副席のひとつ瑞宝寺公園の野点席（昨年のようにす）。紅葉が美しい



お話をうかがった永岡住職。念仏寺の庭の沙羅双樹の花は有名。
毎年6月には花のもとで一弦琴の鑑賞会も

有馬にたびたび訪れたという太閤秀吉公は、大名や千利休、ときには有馬の町の人々を招待して茶会を開いたといいます。それにちなみ、今年も十一月二日・三日に、紅葉のなか、恒例の「有馬大茶会」が開かれます。五十周年をむかえる今年の大茶会の見どころについて、念佛寺の永岡大純住職にお話をうかがいました。

有馬温泉で秀吉公を偲ぶ大茶会が初めて行われたのは昭和二十五年。今年は五十周年記念にあたる。「今年は御茶券が一万円と、ふだんよりも高いのですが、その分一席の時間を

露天風呂とご昼食
ひさご弁当

兵衛
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)

有馬温泉月光園
GEKKOEN

游膳館
KOROKAN
TEL (078) 903-2255
姉妹旅館 游仙山荘
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり味に集う
ARIMA

SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB

TEL (078) 903-1024

攝津 有馬
御所坊
TEL (078) 904-0551

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675
TELEX 5627-115

長くおどりし、ゆっくりと静かな雰囲気のなかでお茶を召し上がつていただけます」と、永岡住職。

「お茶会の当日、どんな茶器を使うか、どのお茶碗でお出しするか、そして床の間にはどんな掛け軸をかけるか、席

の主人はずつと前から考え、用意します。特に掛け軸は、季節と、そのお茶席の心を一番表しているといわれます。

主人は野山に入つて、今日のお客さまのためだけに花を切り、床の間に飾ります。つまりお客様をどんな心でも分たちのために用意された、主人のものなしの心を拝見する。お茶は、そういった心と心のやりとりが基本となつてゐるのです。

秋まっさかりに開かれる有馬大茶会。日本人の心のおもてなしを味わうために、ぜひ茶会に出席してみてはいかがでしようか。

まだ戦後五年、戦災から復興しつつあるとき。心が荒れている時代にひとつゆとりを見出そう、日本の心の文化を大事にしようと大茶会がはじまつた。太閤さんの故事は、ひとつの名目で、日本人の文化を大事にしようという思ひだつたそうだ。

茶席で出されるお菓子も、有馬のほうほうの菓子店で見本をたくさん作り、そのなかから当日のそれぞれの席に合った菓子を選ぶのだそうだ。

第一回有馬大茶会が行われたのは、

●お問い合わせ
有馬温泉観光総合案内所
☎ (078) 904-0708
有馬温泉観光協会
☎ (078) 904-3450

十一月二日（木）

第五十一回 豊公を偲ぶ有馬大茶会

十一月二日（木）
三日（文化の日）

● 献茶式

善福寺（二日午前十時より）

（今年は表千家家元千宗左さんが、善福寺に伝わる秀吉公の位牌に御奉仕します。先着百名の参列ができます）

●副席
有馬グランドホテル 雅中庵

瑞宝寺公園（野点席）

二日・三日とも午前九時より午後三時まで
有馬温泉総合案内所前より、随時「茶会無料バス」が運行します。



有馬グランドホテル「雅中庵」席（昨年のようす）



★御茶券プレゼント
献茶式、副席三か所、点心席、会記引換券がついた御茶券（当日券一万千円）をベア二組（四名様）にプレゼントします！
応募先／〒650-00011 神戸市中央区下山手通3・1・1-18ツインズトアビル4F
月刊神戸つ子「有馬」係
〆切／十月二十日必着

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいろいろ亭「華縫」です！
(昼5000円～、夜8000円～)

有馬温泉 政府登録国際観光旅館
銀水荘別館

兆樂

TEL (078) 904-3656(代)
URL: <http://nrjp.com/chyoraku/>

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

日本の伝統
数寄屋造りの館

欽山

TEL (078) 904-0701

チェックイン13:00、アウト12:00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅ただようくつろぎの館
中の丸珠苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

とい
とい
とい

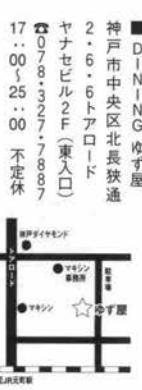
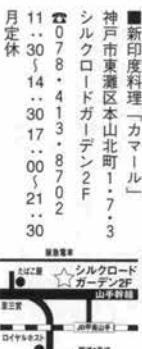
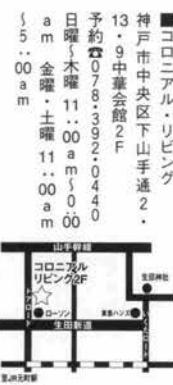


秋の味覚松茸を2000年に
こだわったおいしいお値段で
「神戸吉祥」



おすすめは「松茸の天婦羅膳」。松
茸の香りが衣に封じ込められて、新し
いおいしさ(2000円)。但し、
二千円札でお支
払いの方のみの
サービス。土瓶
蒸しが付いた松
茸の天婦羅膳
(写真)は299
9円。五千円札
を出してみて。

おつりが2001円に。遊びごころの
このお値段、「とてもきついですよ。
でも多くの人に来てもらいたいから」
福原の一角にある日本料理店。ご当
地の文化を守りつつ、情報発信も。
*前日までに必ず予約を。



ベトナムの風を感じてみて! 「コロニアル・リビング」オープン

オールマイティな空間を自分流にアレンジして過ごせるカフェ・レストランがトアロードに8月26日誕生した。

2階のエントランスルームは125席でコロニア

ルスタイルの
オープンエア
カフェとベトナム・タイの
アジアンキュー



徳島県ルームでアジアのリゾートを満喫
がそろつたレ
ストラン。噴
イジーヌ料理

水やカウンターバーもあって4階まで
吹き抜けで気持ちいい。回廊式の3階
と4階は、まさにアジアンなプライベ
ートルームで23室178席。どんな編
成のグループでもOK。カラオケもも
ちろん楽しめる。フレードを一人2品以
上オーダーすれば、2時間までルーム
料金は無料となる。アジアンカクテル
580円。あさりのレモングラス蒸980円。
ランチメニューはセットで980円。



300℃もあるというタンドール(土釜)で焼く炭火料理。直に手を入れてナンを焼くよ
うすも店内から見られる



奥行きが広いカウンターでゆったり落ち着ける
丘豆腐(5
円)、牛乳
と白ゴマで
つくったコ
クのある嶺
自家製梅酒
(600円)

など、ここにしかない味がおすすめ。
カクテルはすべて600円。「ありがとうございます！」の店員さんのあい
さつもさわやか。若い女性から、お勤
め帰りのサラリーマンまで、気兼ねな
く立ち寄れる。

印度料理の新世界「カマール」

新印度料理「カマール」はその名の
ごとく蓮の花をイメージし、インドの
田舎風の土壁やステンドグラスの張ら
れた高い天井にインド人オーナーのセ
ンスが生かされている。インド人シェ
フが日本人好みにアレンジしたタンド
ール料理が自慢のこの店、実はゲイロ
ードの姉妹店。チキンサモサなどの前
菜にはじまり炭火焼の車えびやチキン
をミントの香るヨーグルトソースで、
そして数種のナンと小豆・マトンなど
をベースにしたカレー（他に15種以上
有り）をいただくと、もうインド料
理＝辛いORカレーという単純な発想は
なくなるはず。インドの伝統的な弦楽
器シタールの生演奏を楽しめる「シタ
ール エキゾチックナイト」がおすす
め（10/22(日)19:30）。ランチ平
日800円、ディナー12800円。

ゆずとマスターが絶妙の淡路牛と
ルッコラのカルバッチャ（980円）、
蓮根せんべ
い（350
円）、牛乳
と白ゴマで
つくったコ
クのある嶺
自家製梅酒
(600円)
など、ここにしかない味がおすすめ。
カクテルはすべて600円。「ありがとうございます！」の店員さんのあい
さつもさわやか。若い女性から、お勤
め帰りのサラリーマンまで、気兼ねな
く立ち寄れる。

カジュアル和食と細やかなサービス 「ゆず屋」オープン

店の名前どおり、料理にはゆずがふ
んだんに使われている。ゆず味噌、ゆ
ずドレッシング、ゆずがま（ゆずの皮
の入れ物）、「ゆずは料理の主役にな
らないけれど、アクセントには最高」と
森下店長。

ゆずとマスターが絶妙の淡路牛と
ルッコラのカルバッチャ（980円）、
蓮根せんべ
い（350
円）、牛乳
と白ゴマで
つくったコ
クのある嶺
自家製梅酒
(600円)
など、ここにしかない味がおすすめ。
カクテルはすべて600円。「ありがとうございます！」の店員さんのあい
さつもさわやか。若い女性から、お勤
め帰りのサラリーマンまで、気兼ねな
く立ち寄れる。

中村友一の

味 わ 街

連載20

レストラン「みやす」

神戸ビーフといえば神戸の代名詞的存在でもあり、ステーキハウスいろいろと紹介されているが、今回は私が三十多年前、来神して初めて味わった神戸ステーキの「みやす」を語りたい。

私のステーキ経験は先ず戦後の東京日本橋の初代「紅花」。モノのない時代の牛肉は値千金、キャベツ食べ放題が

うれしかった。学生時代、大津キャンプの酒保で食べた近江牛ステーキ。米軍将校から「近江牛は彦根城主の井伊直弼が毎年、将軍に献上した」という話を逆教育されたものだ。一九七五年頃の上海のホテルでのステーキは、歯が立たぬどころか、ナイフも通りにくく、よく労働した牛なのかと冥福を祈つて飲み込んだ。

当時の「みやす」は三宮駅山側の小路にある素朴な造りの店で、創業者の美安節司は進駐軍食堂で勤めるうちに

CHAR-BROIL—炭焼ステーキのアイデアを得て一九六〇年に開業した。紀州備長炭の強い火力でカリッと仕上がった焼き目の香ばしさ、そして中は肉汁を逃がさぬよう程よく加熱された鮮紅色のミデアムレア、正にステーキの醍醐味である。濃厚な味わいのサーロイン、やや淡白なフィレ。

みやすは四十年間変わらぬ味を保持している。マスターによれば、ロースがウイスキーのオンザロックなら、フィレは水割りで好みの問題だと言ふ。ステーキはフランス料理などと違つて調理加工によって付加価値をつけられない。ただ材料と焼き方のみすべてを決めるシンプルな料理である。「血統などの能書きにこだわらず、炭焼きに適した肉を厳選して値打ちのあるものを客に供します」と美安一穂マ

ネージャーは語る。ステーキの前に出されるサラダも名物で、フレンチとシーザースサラダのドレッシングの中間にこのような滋味がある。店は客席から炉窓の見えるオープンキッチンでインテリアも渋く落ち着いてアットホーム。ママさんの美安昭子は店の雰囲気づくりが巧みで彼女のソシアルな人柄と流暢な英語は外人客の食欲をそそる。

ステーキの楽しさは、旨さを賞味す

るだけでなく、悠然と構えた肉のボリュームに挑戦するワイルドな魅力である。その意味でステーキ程、ナイフとフォークが似合う料理は他にない。

ステーキ発祥の地は英国

のことだが、ロンドンの有名店「ロ

ウリーズ」は十九世紀から王室御用達を誇るウォールズ・ブッチャリー・ショ

ップの遺構のままスコットランド・ビ

ーフを供し、ハーブバターソースのT

ボーンが名物である。ついでながらニ

ューヨークのステーキはベンベンソンとかスマス・ウォレンスキーリ等が有名

だがアメリカ肉は日本の様なMARB

LED(大理石状、霜降り)ではない

が、ジューシーな旨さがある。店内は

広いオーブンルームでマティーニー片手に六百グラム位の肉をむさぼりつ

レストラン「みやす」



神戸市中央区下山手通3-2-19
TEL: 078-391-3088
12:00~21:00 L.O.
(ランチタイム14:00まで)
祝祭日15:00~20:00 L.O.
日祝休
※ハレスステーキコース
(ランチ) 6000円~
(ディナー) 9000円~



見よ！この分厚さ。ハレスステーキは串にさし備長炭で直に焼かれる。香ばしさが口の中に広がる。



品のいい踊りを披露する市田ひろみ先生



(写真上) 徳島に上陸した神戸っ子スタッフ
(写真下) Vリーグサントリーサンバーズの皆さんと

20000を飾る真夏の世の夢!
サントリーマグナムドライ連体験記

阿波踊り



(写真上) マグナムドライ連を引っ張る内藤先生(左)と春団治師匠

(写真右) 嫨茶平連の先生に踊りの手ほどきを受ける

(写真下) 楽鳥が飛んで行く(本誌主筆・小泉)

(写真右下) 上手い、下手なんて関係ない。阿波踊りは楽しんだ者勝ち!



でも人気は高い。バレーボールの選手たちは踊つてゐるとき以外、どこへ行つてもサインと写真攻めにあう始末。休む暇もないほど。今回、小誌の小泉美喜子を筆頭に4人の神戸っ子スタッフが参加した。2週間前には、神戸まつりでサンバを踊つたばかりで、その余韻が覚めやらぬままの徳島上陸であった。集合場所の徳島東急インで、まず着付けを。妬茶

茶平連の協力を得て一般参加者を入れてくれるのだ。さらに豪華なことにサントリーマグナムドライ連の染みの桂春団治さん、林家こん平さん、市田ひろみさん、内藤國雄さん、バレーボール、Vリーグのサントリーサンバーズの主力選手、それにキャンペーンガールの皆さんと共に参加することができるのだ。サントリーマグナムドライ連は、言わばタレント集団。本場徳島

お祭りは、参加してこそその醍醐味が分かる。とくに人々の熱気があふれる夏祭りなら尚更のこと。お盆シーズンは夏祭り真っ盛り、全国いたる所でお祭りが開催されているが、その代表格は阿波踊りだろう。2年前の明石海峡大橋の開通により三宮から車で1時間ちょっとかかり神戸圏内になつた。新しいもの好きの神戸っ子にとつて、この祭りに参加しない手はない。そんな我々の願いを叶えてくれるのが、サントリーマグナムドライ連なのだ。この人気連は約20年間にわたり、地元有名連の妬茶平連の協力を得て一般参加者を入れてくれるのだ。

お

祭りは、参加してこそその醍醐味が分かる。



(写真上)「お疲れ様」
まずはマグナムドライで乾杯！



記念にサインをいただく。
ハッピはサインだけに



(写真上)三味線の腕を披露する朝日健太郎選手
(写真左)マグナムドライキンペーンガールの黒羽夏奈子さん

午後6時、我々サントリーマグナムドライ連は8つの演舞場のうち徳島市役所前の演舞場をトップでスタート。先頭は、娘茶平連のちびっ子たち。これがまた驚き！3歳ぐらいの子供でも、手先や足の動きはもう大人顔負けなのだ！それに動きも統一されていて、とても子供たちの成せる技とは思えない。その後に、タレント集団、一般参加者がつづく。参加者は、さぞかし緊張しているのではと思いつや、すでにマグナムドライがふるまわれ、程よくアルコールが回っている。三味線、笛、太鼓といった鳴り物、棧敷席を埋め尽くす観客、会場すべてが祭り一色に。まるで、我々の出番を待っているかのようだ。いざ踊り出すとなると、教えてもらったことなど何處へやら、ハチャメチャだけど、皆の顔には心底お祭りを楽しんでいる様子が受けとれる。踊つては飲み、飲んでは踊る。神戸つ子スタッフも2000年を飾る真夏の夜の夢を大いに満喫した。

午後9時、すべての演舞場を踊り終ると、最後は居酒屋を借りきつて打ち上げ。もちろんマグナムドライで乾杯！タレントの皆さんも踊りと追つかけから解放され、ほつとした様子。すべての疲れをビールで洗い流した。ハッピにはタレントの皆さんにサインをちりばめてもらい、これ以上ない記念となつた。それにしても林家こん平さんがいるところにかく暖やか。あのパワーには恐れ入った。

(高橋)

平連の皆様に手伝つていただいて、参加者は男女を問わずハッピにパンツ姿と勇ましく変身？ロビーで踊りの手ほどきを受ける。「手と足はいっしょの方に向かしてください。それぐらいならできるでしょう」と、全体練習を数回繰り返し、あとは本番を待つのみ。